

◆ 動向と課題

就労や学業のために本市に居住する外国人が増加する傾向にあり、今後滞在の長期化や定住化が予想されることから、言語や文化、生活習慣が異なることに起因する様々な問題に備える必要があります。

また、グローバル化が大きく進展する中、豊かなコミュニケーション能力や異文化に対する深い理解を持ち、国際社会の一員として広く活躍できる人材育成の必要性が高まっています。

◆ 施策目標

国籍や民族等の異なる人々が互いの違いを認め、尊重し合いながら、地域住民の一員として安心して生活できる多文化共生のまちを目指します。

◆ 取組の方向性

1 多文化共生の推進

言語や文化、生活習慣が異なる外国人市民に対するコミュニケーション支援を行うことにより、安心して生活できる環境を整備します。また、地域住民に対する意識啓発等を通じて、市民の多文化共生に対する理解を深め、多文化共生の担い手づくりを推進します。

◇ 特に注力する取組

- ◆ 行政の窓口や相談業務における外国人市民へのコミュニケーション支援

2 国際理解の推進

姉妹都市・友好都市*や国際交流員を始めとする外国人市民との市民レベルの国際交流の機会を提供することにより、異なる言語や文化、価値観への理解を深め、国際社会の一員として広く活躍できる人材を育成します。

◇ 特に注力する取組

- ◆ 国際理解を深める機会の提供

2 自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創ります

5 インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします

指標

項目	基準値	目標値
多文化共生に資する講座やイベントへの参加者数	200人 (R5年度)	300人 (R10年度)
国際理解につながる講座やイベントへの参加者数	1,177人 (R5年度)	1,300人 (R10年度)

関連する取組又は事業

① 多文化共生の推進

- ◆ 多文化共生に対する理解の推進
- ◆ 多言語による行政情報の整備と発信
- ◆ 多文化共生の担い手づくりの推進

② 国際理解の推進

- ◆ 国際交流を通じた国際理解の推進
- ◆ 姉妹都市・友好都市等との国際交流の促進